

令和6年度 第2回堺市東区政策会議 議事要旨

- 開催日時 令和7年1月7日（火） 午後1時30分から午後3時30分まで
- 開催場所 東区役所2階 203会議室
- 出席構成員 池崎守、金牧かおり、川上浩、北井道子、小西貢、城岡キヌ子、高落俊次、
高木悠里、辻有理、西野巳佐夫、林聡子、松島亮次、森田法子、渡士晶子
（以上14名）（50音順）
- 事務局職員 東区役所 三井区長、近藤副区長、水谷東保健福祉総合センター所長、
新田企画総務課長、船津自治推進課長
企画総務課 武田課長補佐、井上企画係長、大野主査、植田、酒井
- 傍聴 傍聴人 2名
- 案件
- 1 開会
 - 2 議題
 - （1）東区の歴史・文化の発掘・発信～次世代への継承について
 - （2）東区区民アンケート調査の実施結果について
 - （3）次期東区基本計画の策定について
 - 3 閉会
- 配付資料
- 資料1 令和6年度第2回堺市東区政策会議 座席表
- 資料2 令和6年度の取組について
- 資料3 令和6年度「東区区民アンケート調査」の実施結果について
- 資料3別紙 堺市東区区民アンケート調査結果報告書【単純集計・前回比較】
- 資料4 次期東区基本計画の策定について
- 資料4別紙 堺市東区みんなで育むわがまちビジョンにかかる取組 振り返り
- 参考図書 堺市東区みんなで育むわがまちビジョン（令和3年度～7年度）

【会議内容概要】

- 1 開会

配布資料の確認後、本会議が公開であること、傍聴者が2名であることを報告。
また、5名の欠席を報告。
- 2 議題
 - （1）東区の歴史・文化の発掘・発信～次世代への継承について
 - ① テーマ別会議「ひがし歴活」について

資料２に基づき、昨年１１月２４日開催のスタンプラリーイベントの実施結果、及び「東区かるた」普及の取組状況について報告した。

② テーマ別会議「ひがし文活」について

資料２に基づき、ひがしふれあい文化祭での白鷺校区・登美丘東校区の作品の出展、また今後実施予定のこども絵画展と文活メンバー等による絵画制作について報告した。

【各構成員発言要旨】

- （座）この間、歴活・文活メンバーの皆さんの活躍でそれぞれの事業が展開できたと感謝している。特に歴活のスタンプラリー事業では、南八下・八下西の多くの皆さんに加え川上氏には大変お世話になったことに感謝申し上げる。では、まず歴活についてご意見をいただきたい。
- これからの展開について、テーマが「東区の歴史・文化の発掘・発信」となっているので、発掘の意味を考えないといけない。何を発掘するのか、新たに誰も知らないことを発掘するのか、それとも誰かが知ってることを掘り起こすのか、など発掘の視点を考える必要がある。
- 歴史を知ることは楽しいと思った。楽しい経験をさせていただいたと感謝している。
- 今回改めて地域の歴史資料を読み込んだ。身近なことでも知らなかったことがあり、よい機会をいただいたと思っている。
- スタンプラリーに参加したが、解説場所での説明を聞いているとかつての地域の姿が浮かんでよかった。コウノトリの飛来のことも話題になった。
- コウノトリは野田や登美丘西方面にも飛来していたらしい。
- ラリー当日は地域会館でお世話をさせていただいたが、話しかけると大阪市からの参加の方がおられるなど、皆さん楽しんでいただいたと感じている。
- （事）担当としてラリーのルートを回らせていただいたが、行政では把握しきれない情報や魅力などを地域の皆さんに教えていただき、地域の皆さんとの協働の意義に改めて気づかされ、まちづくりにおける地域の声の大切さを改めて確認できた。
- （座）先ほどまちづくりにも寄与することとして発掘の視点をどうするのかとのご発言から歴活での活動にかかる発言をいただいたが、文活でも「ひがしふれあい文化祭」に出展していただいた白鷺校区では大津池周囲での環境整備について事務局から報告があった。
- 白鷺校区での文活活動として昨年の夏休みから取り組み始め、こどもたちの居場所の視点と地域のため池の環境整備を、次世代を担うこどもたちに託したいとの思いで大津池周囲に絵を飾っていこうという活動を始めた。未来の大津池の姿をテーマにこどもたちに描いていただいた。地域としても水質保全（改善）や清掃活動が続けている。東区にはため池が多いので地域資源としての大津池と位置づけて活動を続けたい。
- （座）大津池の環境、景観の変化を楽しみにして活動を続けていただきたい。
- 大津池の堤周囲には桜の木があり時期が来ると景観も非常に良いのだが、昨年夏あたりからクビアカツヤカミキリの被害が拡大しているのが悩ましいところ。

- （座）ため池は東区の財産だと思っている。東区のため池はもとより地域資源としての文化村にも興味を持たれている高木氏からご発言いただきたい。
- 私自身のため池に関する成果物は持ち合わせていないが、兵庫県全体のため池ミュージアムがあることは把握している。（参考；いなみ野ため池ミュージアム 兵庫県加古郡）
東区全体としてため池をどのように扱うかについては課題とされていて、大津池の取組は評価している。また、文化村については東図書館主催のオーラルヒストリー講座でヒアリングしたが、文化村自体についての歴史については歴史家等によって調べられているが、文化村があった意味やそれが現在にどのようなにつながっているかについて自分なりに整理しようとしているところ。地域に対してどんな意味があったのかは整理したいと思っている。図書館での話を聞いていると地域の皆さんが楽しそうに話していたことが印象としてあった。
- （座）文化村については、人権にかかる発信があったので小さいころから地域では身近に意識しながら生活していた。文化の視点でも掘り起こしの資源と思うが当時を知る住民の高齢化が進んでいることが悩ましい。
- 文活に所属しているが、東区を絵画で埋めるという視点を続けていきたいと思っている。読むことよりも見ることによってダイレクトに伝わる。
- ふれあい文化祭での川上氏の講演を聞かせていただいたが、とても楽しく聞かせていただき同行者ともよかったと話が弾んだ。
- （座）議題1について、いろいろな意見をいただいた。今後も区役所とともに事業展開したいと考えるので、皆さん今後もよろしくお願いします。

（2）堺市東区区民アンケート調査結果について

資料3及び資料3別紙に基づき、アンケート結果について報告。結果の概要については別紙の堺市東区区民アンケート調査結果報告書【単純集計・前回比較】により報告し、詳細分析の結果については次回の報告とする。

【各構成員発言要旨】

- （座）無作為調査と公開型の調査結果に差が出たか。
- （事）現在、比較分析を行っているところだが、例えば引き続き住み続けたいか、また東区への愛着についての問についてはほぼ差がなかった。ただ、回答者の属性が異なっていることもあり分析待ちと考える。顕著な差が見えるのが、子育て世代が多かったこともあり、力を入れてほしい分野など公開型では子育てや教育環境が上位を占めているのが確認できる。
- （事）今回の公開型アンケート調査では500名以上の皆さんから高い関心を持って回答いただいた。改めて各校区自治会、東区自治連合協議会の皆様には感謝申し上げる。
- （座）アンケート結果を見ると安全・安心への関心が高く、まちづくりにも関わることだが東区の現在の犯罪発生件数は他区に比べて非常に少ない。平成12、3年頃は街頭犯罪が多かったが、所轄地域の変更のもと黒山警察署と地域が連携して犯罪発生件数が9割ほど減少した。

この意味するところは、警察や区役所と連携した住民の意識の高まりによるものと考えている。

- アンケートの回収結果から住民の意識の把握ができるのか。
- （事）統計的には調査結果は有意だと考えている。
- （座）公開型の比較調査については、区長×（エックス）にも投稿して回答協力の呼びかけをしていただいた結果、500件以上の高い関心を持って回答していただいている。
- アンケート結果を見ると東区への愛着や誇りの項目が特に多い。やはり区民まつりや地域のイベントを答えられていることから、校区自治連合会・自治会の行事は年齢差に関係なく大切なことだなと思った。普段の行事、活動をしっかり続けていこうと思った。
- 自治会に入っておられない方にもイベントには来ていただいている。問18には加入についての質問があるが、答えた方が自治会に入っているのかどうか知りたい。自治会に関心をお持ちの方は多いので、イベントも地域みんなで運営して自治会の役員になろうかなという雰囲気づくりが必要かなと思う。このことについては我々もこれからの勉強かなと思う。
- 地域活動には皆さん興味をお持ちだと思うが、自治会加入の入り口をどのように作るかが難しいと思う。行政も自治会に対する期待というか自治会をどう考えるのか、地域の行政を進めていくときに自治会組織というものとどのように連携していくかについては考えてほしい。
- 防犯灯の電気代や防犯カメラも行政のほうで進めているなかで、我々地域住民も防災では人と人とのつながり隣近所の連携を構築していくということと思う。
- 11年前に東区に移ったがその時に、災害時に自治会名簿に記載がなかったら災害物資もらえないよ、と言われた。そういうレベルの意識の方もいらっしゃると思う。そうではなくて、何かが起こった時に皆で声かけ大丈夫か、あそこの家見に行こか、というような繋がりのため、無理に繋がるのではないいろんな世代が関わる自治会であってほしい。
- 自治会活動というのは一つの地域社会の活動と思っていて、超高齢社会の中でコミュニティの形成と思う。お互いに助け合うことがこれから大事になってくる。
- お金に換えられないものをこども会やPTA活動でいただいたと思っている。
- 東区では学校教育に力を入れていると思っており評価している。報告で防犯防災に興味を持っていたら、安全安心の東区だと思う。
- 東区民でない（大阪市在住）自治会活動をしていない視点で考えると、防災に対する意識はあるが自治会主催の防災訓練となると気が引けるが、東区では防災活動は自治会なくしては成立しないということであり、東区の強みではないか。
- 東日本大震災以降は災害対策の視点が高まったが、最近の関東での強盗犯罪もあり防犯の意識も高いと思う。安全安心、防災、防犯への意識が高いことから自治会活動の強みと言えるのではないか。次期計画にも反映されることではないか。
- （座）安全安心があつての次期計画だと思う。引き続き東区の安全安心を担保していかなければならない。そういう意味では区長を筆頭に自治会を大事に思ってもらっており、自治会活動を住民に、区長×（エックス）などで頻繁に情報提供していただき、大きな効果を生んでいる。
- （区）いろんな分野で自治会の皆さんが活動されており、安全安心につながっていることを多

くの住民の皆さんに知っていただきたい思いで情報発信している。

- 先の発言にあったが回答数の多さはすごいことだなと思った。ただもっと自治会活動のことが知れる何か方策が必要かなと感じている。自治会活動が見えていないように思うし、他区の自治会活動も知れる何かがあれば参考にできるなと思う。
- 自治会では毎月情報発信の新聞を発行しているが、自治会に加入していない住民には配布していない。いろんなイベントを実施していても自治会未加入の方にはその情報が届いていない。高齢者の多いところでは、インターネットやスマートフォンで情報を得ようとするのが難しい。また、加入のメリットは何かと問われることが多い。
- 所属する校区連合自治会では役員の高齢化が進んでいる中で、若い世代が勤務していることもあるが自治会に対する意識もギャップが広がっているように思う。
- 自治会に対する期待という視点ではアンケートに回答してくれた結果が５割というのはすごいと思うが、もし全住民に回答を科すかどうか、ということもあるのでまずは回答してくれる人を増やすことが重要と思う。普段の自治会活動に答えてくれる住民を増やすことが重要。
- 回答するのは面倒なことだと思うが５割も回答していただいたことはありがたい。
- 東区にはこのようなことにも答えてくれる住民が多いということと思う。
- 安定して住み続けてくれる人が多いと思う。昔でいうと東区は農業が盛んだったので協力して生活するので、例えばほかの区とは違い普段から互いに協力しながら生活している。
- 自分の校区では、新しく来られた方の自治会活動への参加が多く元々の住民と一緒に活動してくれている。
- 東区はまちが落ち着いているように思う。車の通行についても都会とは違うように思う。
- 泉北に住んでいる方と話していると、「お祭りのある地域がうらやましい、大人からこどもまで一緒になって楽しんでいる」と言っていた。地域のつながりが大きい、大切だと思う。
- （座）今までの発言も踏まえると、安全安心なまち、教育・文化のまちを進めていく、区役所とも協力しながら進めていくということと思う。

(3) 次期東区基本計画の策定について

資料４に基づき策定の流れと会議スケジュールを提案し、資料４別紙に基づき４つの基本方針に沿って振り返りを行ったものを提示した。

【各構成員発言要旨】

- （座）行政では自治会会員だけでなく広く意見を聴かれており、特に東区では区長さんに直接意見が寄せられている。次期東区基本計画の策定についてはその意味でも重要であるので行政からの提案について議論を進めていきたい。まず、区長からご発言いただきたい。
- （区）行政としても地域の皆様と心をつなげて同じ目標に向かって取り組んでいきたい所存。この計画はそのための行動指針と考えている。今までのご発言からキーワードが出ていたが、区民の皆様が大切にしたいことをこの計画に位置付けて次の世代に引き継いでいきたいと

の思いで、10年先の将来像を見据えてこれからの5年間の計画を策定するもの。

配布したビジョンの14ページに東区のめざす将来像が記載されており、大きな変更はないと思うが、目標に向けた取組みや活動については皆様の意見を聞きながら整理したい。4つの基本方針のもと9つの取組テーマが示されているが、区民の皆様と区役所が力を合わせて特に力を入れる特色を出し、区民の皆様に伝わる計画にしたい。また、9つのテーマそれぞれの課題解決は重要だが、それだけではなく東区の良いところを伸ばしていく、楽しいまちづくりができる東区であるよう、これからの東区に希望が見えるような計画にしたい。区民の皆様が暮らしの中で大切にしたいと思うことや明るい未来が感じられる、区民の皆様と共有できることを優先しながら整理したい。これらを踏まえて皆様からは忌憚のないご意見をいただきたい。

- (座) 区長の発言にもあったように選択しないといけないと思う。すべて進捗できるというのは難しく、少子高齢化、経済状況を鑑みるとこの東区のビジョンは、区長がおっしゃる通りメリハリをつけた計画であるべきと思う。意見は言わせてもらうが、広く意見を聞いていただいたうえでまずは区役所から提案してもらえればと思う。
- 現行ビジョンの「基本方針3 水と緑と暮らしが調和するまち」を一つのメインテーマにしてほしい。これを広めることでまちの賑わい(人の交流)が生まれるのではないか。
- キャッチコピー「人・世代がつながる 住み続けたいまち」は変えてもいいのか。
- (座) 変更してもよいのではないか。どんどん提案してもらいたい。
- 「住み続けたいと言われ続けるまち」とすると今の住民意識がもっと発展するように計画を作っていくと解釈できるのではないか。
- 教育文化については大切なので入れてほしい。
- 大津池の環境についても、学校教育現場では小学3年生の理科で自然観察が初めて出てくるようだが環境についてはもっと早くふれるべきで幼児教育からでもいいのではないかと思う。幼稚園、こども園と小学校の交流も必要と思う。
- 勝手な思いだが、地域の歴史や文化を調べていて、調べて楽しかった、で終わるのはもったいない。例えば大美野の噴水について、昔は車の通行が少なかったなのでそこでこどもたちが遊んだり盆踊りをしたり広場的な使われ方をしていた。今日の会議で東区では祭りが盛んだと聞いたので、ロータリーの通行を止めてもう一度盆踊りをしたら盛り上がると思った。今のは一つの例えではあるが、公共空間を活用できれば、何か注目される新しいことができればと思う。
- 今の発言はこれからに向けた一つの事例だととらえたい。

3 閉会